学校番号	１１４

令和２年度　地歴科

教科	地歴	科目	世界史Ｂ	単位数	４単位	年	３年
類型等	文型（選択）・文理型（選択）						
使用教科書	「詳説世界史」　（山川出版）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表　（第一学習社）、 合格へのトライ　世界史Ｂマスター問題集（改訂版）（山川出版社） 世界史各国史改訂新版（九州高等学校歴史教育研究協議会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、古代から近世までを通史的に扱います。
世界史に興味があり、１・２年で学んだことをさらに深めたい人や進路関係で世界史を選択する予定の人を想定して授業を行います。古代から近世までと幅広い歴史・地域を扱うので、内容が多岐にわたります。したがって、この授業を受ける予定で全くそういったことに興味がない人は好きになる努力をしてください。例えば、２年生の春休みなどを通して、少なくとも大まかな世界地理の復習・予習をしておく方が望ましいです。
そして、博物館・美術館（国立民族学博物館やその他巡回する展覧会）などの見学は、学習の助けにもなるので訪れてみることをお勧めします。学習する時代を扱った映画や漫画などを読むこともおすすめです。
また、扱う内容は、古代からの事象とはいえ、必ず現代社会とつながってくる出来事がほとんどです。テレビやインターネットで構いませんので普段から世界のニュースに触れている方が、大きな枠組みと流れが掴みやすくなります。

２　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと流れを，日本の歴史と関連付けながら理解させ，文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	古代から現代にかけての世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代社会の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	古代から現代の世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	序章先史の世界	人類が自然環境に適応しながら進化し，農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことに気付くと同時に，人類と言語の分化を理解する	○			○	a：人類の進化とその特徴，文明の特徴について関心を持って学習しようとしている。 b：人類の進化の過程，農耕・牧畜の開始の意義などを，多角的に考察し，文章にまとめる。 c：進化図や道具図，洞穴絵画などの図版や写真，教科書に掲載されている諸言語の系統分類表を適切に活用している。 d：人類の進化，文明の成立，人類と言語の分化に関する基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度
	第1章オリエントと地中海世界	1．古代オリエント世界 2．ギリシア世界 3．ローマ世界	○	○	○	○	a：古代エジプト・メソポタミア文明、アケメネス朝ササン朝の文明、古代ギリシアやローマ文明の歴史上の意義や果たした役割について関心をもって学習しようとしている。 b：古代のオリエントや地中海世界で生み出された文明が、世界に広がり、東西交流に影響を与え、後の世界に影響を考察し、文章で表現できる。 c： 各文明の資料・図版・写真などを適切に活用している。 d： 諸文明の特徴を理解し，その基本的な知識を身につけている。	
	第2章アジア・アメリカの古代文明	1.インドの古典文明 2．東南アジアの諸文明 3．中国の古典文明 4．南北アメリカ文明	○			○	a: 地理的特質をもつそれぞれの地域で，形成された独自の文明について関心をもって学習しようとしている。 b:それぞれの地理的環境のなかで、生み出された文明について、独自性や影響を受けて形成されたことを多角的に考察し表現できる。 c: 教科書に掲載されている地図や資料，遺跡などの写真を適切に活用している。 d:それぞれの地域の文明の特徴を理解し、その基本的な知識を身につけている。	

	第３章内陸アジア世界・東アジア世界の形成	１.草原の遊牧民とオアシスの定住民 ２．北方民族の活動と中国の分裂 ３．東アジア文化圏の形成	○		○	○	ａ：内陸アジアの遊牧民やオアシス民の独自の活動について、さらに中国の動向が内陸アジア諸民族の活動との関連があること、唐により東アジア文化圏が形成され、周辺諸国に多大な影響を与えたことに関心をもって学習しようとしている。 ｂ： 内陸アジアの諸民族と中国王朝とのダイナミックな関係や隋唐帝国により東アジア文化圏が形成され、周辺諸国にどのような影響を与えたか考察し、表現できる。 ｃ： 教科書に掲載されている領域図や，王朝系統図などの資料や図版、写真などを適切に活用している。 ｄ：内陸アジアの諸民族の活動・文化、中国の王朝との関係、東アジア文化圏の中核となった唐王朝について基本的知識を身につけている。	
	第４章イスラーム世界の形成と発展	１.イスラーム世界の形成 ２．イスラーム世界の発展 ３．インド・東アジア・アフリカのイスラーム化 ４．イスラーム文明の発展	○		○	○	a:イスラーム世界成立の背景とその特質，アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成や発展について関心をもって学習しようとしている。 イスラーム文明の特質とその影響について関心を持って学習しようとしている。 b:イスラーム教の成立を西アジアの情勢や社会的な背景と関連づけて考察し，文章にまとめる。 イスラーム世界の拡大について，多角的に考察し，文章にまとめる。 イスラーム文明の特徴を多角的に考察している。 c:イスラーム世界の広がりの地図やイスラーム文明の写真などを適切に活用している。 d:イスラームの特質やその形成・発展過程について，基本的な知識を身につけている。イスラーム文明の内容や特質について基本的な知識を身につけている。	
	第５章ヨーロッパ世界の形成と発展	１.西ヨーロッパ世界の 成立 ２．東ヨーロッパ世界の成立 ３．西ヨーロッパ中世世界の変容 ４．西ヨーロッパの中世文化	○			○	ａ：地中海世界解体後の東西ヨーロッパ世界の成立、及び中世ヨーロッパの社会と文化について関心を持ち、学習しようとしている。 ｂ：地中海世界の解体過程、東西ヨーロッパ世界が形成過程やその違いについて考察している。 封建社会の変容について、政治・経済の動きと関連させて考察している。 ｃ：教科書に掲載されている地図や図版・写真を適切に活用している。 ｄ：東西ヨーロッパ世界の形成・変容、その文化について基本的な知識を身につけている。	

	第６章内陸アジア世界・東アジア世界の展開	１.トルコ化とイスラーム化の進展 ２．東アジア諸地域の自立化 ３．モンゴル大帝国	○	○	○	○	a:トルコ人の活動とイスラーム化、その歴史的意義について関心を持って学習しようとしている。中国の宋と日本を含めた周辺の民族の動向について関心を持って学習しようとしている。モンゴル帝国の興亡と，その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響について関心を持って学習しようとしている。 b:トルコ民族の活動を，トルキスタンの成立と関連づけて考察している。宋の統治体制とその社会や文化の特色を，東アジア文化圏の統合力の変化を周辺諸国との関連性で考察している。 モンゴル帝国や元朝の築いた東西のネットワークの世界史的な意義を考察し、表現できる。 c:教科書に掲載されている領域図や系図・図版・写真などを適切に活用している。 d:トルコ人の活動とイスラーム化について基本的な知識を身につけている。中国の宋と日本を含めた周辺の民族の動向について基本的知識を身につけている。モンゴル帝国の興亡と，その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響について基本的知識を身につけている。	
２学期	第７章アジア諸地域の繁栄	１．東アジア世界の動向 ２．清代の中国と隣接諸地域 ３．トルコ・イラン世界の展開 ４.ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	○	○	○	○	a:14～18 世紀に出現したアジアの王朝・帝国の繁栄について関心をもって学習しようとしている。 b:この時期に出現した王朝や帝国の特色や他地域とくにヨーロッパ諸国との関係性について考察し表現できる。 c:教科書に掲載されている領域図や系図・図版・写真などを適切に活用している。 d:この時期に出現した王朝や帝国について、またヨーロッパ諸国との関係性について基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度
	第８章近世ヨーロッパ世界の形成	１.ヨーロッパ世界の拡大 ２．ルネサンス ３．宗教改革 ４.ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	○	○	○	○	a:ヨーロッパ世界の拡大とそれに伴うヨーロッパ社会の変革の動き、ルネサンス・宗教改革の内容や意義について関心を持って学習しようとしている。 b:ヨーロッパ世界の拡大・ルネサンス・宗教改革が相互に関係しながら、政治・経済・社会・宗教・文化などあらゆる面で、近現代につながる動きが出てきたことを考察し表現している。 c: 教科書に掲載されている領域図や系図・図版・写真などを適切に活用している。 d: ヨーロッパ世界の拡大・ルネサンス・宗教改革、主権国家体制の形成について基本的な知識が身についている。	

	第９章近世ヨーロッパ世界の展開	１．重商主義と啓蒙専制主義 ２．ヨーロッパ諸国の海外進出 ３．17～18 世紀ヨーロッパの文化と社会	○	○	○	○	a:ヨーロッパの主権国家の動向と海外進出、その時代の文化について関心を持って学習しようとしている。 b:17～18 世紀のヨーロッパ諸国の活発な経済活動と植民地争奪戦争を，重商主義と関連づけて考察し，文章にまとめる。また大西洋で成立した三角貿易の利益が次の産業革命の前提条件である資本の蓄積と関連づけて考察し、表現できる。 この時代の文化が当時の社会状況と関連づけて考察し表現できる。 c: 教科書に掲載されている領域図や系図・図版・写真などを適切に活用している。 d: 17～18 世紀におけるヨーロッパ諸国の動向や文化や社会に関する基本的な知識、を身につけている。	
	第１０章近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	１．産業革命 ２．アメリカ独立革命 ３．フランス革命とナポレオン	○	○	○	○	a:近代世界が本格的に成立する契機となった産業革命・アメリカ独立革命・フランス革命について関心を持ち学習しようとしている。 b: 資本主義体制の確立と社会の変容について，社会問題・労働問題と関連づけて考察し，文章にまとめるアメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響について考察し表現できる。 c: 教科書に掲載されている領域図や系図・図版・写真などを適切に活用している。 d:産業革命・アメリカ独立革命・フランス革命に関する基本的知識を身につけている。	

	第１１章欧米における近代国民国家の発展	１.ウィーン体制の成立 ２.ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 ３．南北アメリカの発展 ４．19 世紀欧米の文化	○	○	○	○	a:ウィーン体制と自由主義・ナショナリズム運動、19 世紀後半以降の国民国家の形成や近代化について関心を持って学習しようとしている。 19 世紀後半以降の南北アメリカ大陸の動向について関心を持って学習しようとしている。 19 世紀の欧米文化について関心を持って学習しようとしている。 b: フランス革命･ナポレオン時代から出てきた自由主義・ナショナリズムの流れが、やがてウィーン体制を崩壊させ、19 世紀後半、国民国家の形成や近代化が東欧に拡大したことを西欧と比較しながら考察し表現できる。 アメリカ合衆国の発展と独自性を、領土の拡大と南北戦争に関連させて考察し、表現できる。 ラテンアメリカ諸国の独立をヨーロッパ諸国の動向と関連させて考察し表現できる。 19 世紀の欧米文化を社会状況に関連させて考察している。 c: 教科書に掲載されている領域図や系図・図版・写真などを適切に活用している。 d:19 世紀における欧米諸国の国民国家の発展について基本的知識を身につけている。 また、19 世紀欧米の文化の基本的知識を身につけている。	
	第１２章アジア諸地域の動揺	１.オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 ２．南アジア・東南アジアの植民地化 ３．東アジアの激動	○	○	○	○	a: 世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ勢力のアジア諸国に対する干渉や植民地化の動きに関心をもって学習しようとしている。 b:19 世紀におけるアジア諸地域の動揺に関して、ヨーロッパ勢力の植民地化の動きと関連させて考察し、表現できる。 c: 教科書に掲載されている領域図や系図・図版・写真などを適切に活用している。 d:ヨーロッパ勢力のアジア諸地域に対する植民地化の動きに対する各地域の対応に関する基本的な知識を身につけている。	

	第１３章帝国主義とアジアの民族運動	１.帝国主義と列強の展開 ２．世界分割と列強対立 ３．アジア諸国の改革と民族運動	○	○	○	○	a:帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列強諸国の国内の動向と帝国主義列強の世界政策、その攻勢を受けたアジアの地域の民族運動に関して関心を持って学習しようとしている。 b: 欧米列強が帝国主義政策をすすめた結果，列強の二極分化が進み，第一次世界大戦の背景となっていったことを考察し、表現できる。 アジアの民族運動の形成を、列強の帝国主義支配と関連させて考察し、表現できる。 c: 教科書に掲載されている領域図や系図・図版・写真などを適切に活用している。 d:帝国主義時代の列強の国内の動向、アジアの民族運動に関して基本的な知識が身についている。	
	第１４章二つの世界大戦	１.第一次世界大戦とロシア革命 ２．ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ３．アジア・アフリカ地域の民族運動 ４.世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ５．第二次世界大戦	○	○	○	○	a:２つの世界大戦が起こったことに関して関心を持って、学習しようとしている。 b:第一次世界大戦→ヴェルサイユ・ワシントン体制→世界恐慌→第二次世界大戦の推移を原因から結果、結果が次の原因になっていくことを考察し、表現できる。 c: 教科書に掲載されている領域図や系図・図版・写真などを適切に活用している。 d: 第一次世界大戦、ヴェルサイユ・ワシントン体制、世界恐慌、第二次世界大戦に関して基本的な知識を身につけている。	
３学期	第１５章冷戦と第三世界の独立	１.戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ２．米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ３．第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り ４．石油危機と世界経済の再編	○	○	○	○	a:戦後、冷戦構造の形成と第三世界の台頭、戦後の諸課題について関心を持って学習しようとしている。 b:第二次世界大戦の国際関係と関連させて戦後の冷戦構造が形成されたことを考察し、表現できる。 第三世界の台頭を第二次世界大戦中の民族運動と関連させて考察し、表現できる。 戦後形成された国際経済体制がベトナム戦争・石油危機と関連させて考察し、表現できる。 c: 教科書に掲載されている領域図や系図・図版・写真などを適切に活用している。 d:冷戦、戦後の復興、第三世界の台頭、世界経済体制に関して基本的な知識を身につけている。	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度

	第１６章現在の世界	１．社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 ２．途上国の民主化と独裁政権の動揺 ３．地域紛争の激化と深刻化する貧困 ４．現代文明の諸特徴	○	○	○	○	a:冷戦終結、東欧社会主義圏の消滅、ソ連の解体、グローバリゼーション関して関心を持って学習しようとしている。グローバリゼーションにともなう新たな課題について関心をもって学習しようとしている。 b:冷戦終結後の世界について、新たな動きや諸問題について多角的に考察し表現できる。 c: 教科書に掲載されている領域図や系図・図版・写真などを適切に活用している d:冷戦終結後の世界で起こっている問題について基本的な知識が身についている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c: **資料活用の**技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。